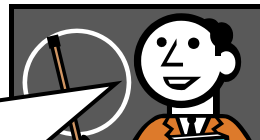




このお便りは、「キャリア教育」と「キャリア教育に関すること」について理解を深めるために作成しています。Q&A方式でお送りします。

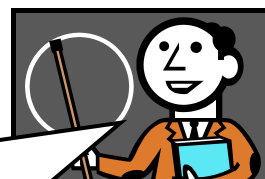
## キャリア・パスポートって、何？



先日の学活で表紙とワークシート1枚分進めた『キャリア・パスポート』について説明します。『キャリア・パスポート』とは、児童生徒が小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる活動について、学級活動を中心として、各教科とも関わりながら、自分の学習状況や変化を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるように工夫されたポートフォリオ(活動の蓄積を記録するファイル)のことです。令和2年度から全国実施となり、小学校1年から高等学校の卒業まで機会に応じて活用・蓄積していきます。つまり、生徒のみなさんが書いた内容は進学先にも引き継がれ、中学校時代にどんなことを行い、どんなことを考えていたかについては、高等学校の先生も参考にするとおられます。



## 何のために使うの？



小学校から高等学校まで、自分が学んだことや感じたこと、がんばったことやがんばりたいことを記録・蓄積していくことで、自分の成長を感じたり、自分を評価したりするために使います。こういった活動を継続して行うことで、主体的に学びに向かう力が育てられ、学校生活だけでなく、社会に出てからも力強く生きていくための基礎が養われます。

また、学級活動だけでなく、学校行事や各教科での学びを記録することも考えられます。それぞれの教科を将来に役立たせるためにも活用することができます。今後、小学校での内容を中学校の先生が、中学校の内容を高等学校の先生が見ることで、生徒を理解するための1つの手段になることも期待されています。保護者の方にコメントを書いていただく活動もあるかもしれません。その際にはご協力をお願いいたします。



『キャリア・パスポート』小学校から中学校、そして高等学校へと12年間を通じて活用され、引き継がれていきます。自分が過去にどんなことを考えていたのか知る資料として、自分が将来どんな成長をしたいか考えるための教材として、効果的に活用されることを願っています。